

日向山古墳跡



土居町小林田尾の日向山と呼ばれるところに3基の古墳があったとされているが、現在は墓地となっている。また、少し南の離れたところに4号墳があり、現在は荒神さんが祀られている。

1・2号墳は、平成11年8月に土居町教育員会によって発掘調査が行われており、奥殿古墳発掘調査報告書に付記されている。

報告書によると1号墳は、南向きに開口する横穴式石室を持つ。羨道から玄室までほぼ同じ幅で続く無袖式の石室に突出する立柱石をおくことで両袖式としている。全長6.4m、玄室3.4m、幅1.9m、高さ1.6mほどである。墳丘は、残っている物で11mほどであった。

2号墳は、調査当時残っていたもので石室長5m、幅1.7mほど。無袖式で、墳丘規模は、1号分と同じ11m程度と報告書には記されている。

3号墳は、発掘調査が行われていないようで、資料が見当たらない。

また、4号墳は、現在荒神さんが祀られているが、丘状になった部分に石材が埋設しており、石室に使用された石材と推測されている。詳細については不明。

日向山古墳について、奥殿古墳発掘長報告書には、古墳時代後期の築造と記されている。